大正大学
オープンキャンパス

文学部
日本文学科

日本文学科の学習

- 2020年度の専任教員の構成
- 入学者の受け入れ方針
- 入学後の学習の流れ
- 卒業生が目指す主な進路

2020年度の専任教員の構成

・古典文学　渡辺麻里子、田中仁、古田正幸

・近現代文学　小嶋知善、山内洋、梅澤亜由美

・日本語学　大野純子

→平安時代から現代にいたるまでの幅広い時代を網羅した文学の勉強と、日本語学の勉強が出来ます。
→その他、非常勤講師の先生も様々な分野を教えています。

（以下、青字は補足事項です）

入学者の受け入れ方針（アドミッションポリシー）

知識・技能

①国語、地理歴史、公民、外国語について高等学校卒業相当の知識と技能を有している。特に国語について十分な知識と読解力を有している。

→高等学校（高校）までに学ぶ領域として、いわゆる文系の諸分野にくわしく、とくに国語が得意な方を歓迎します。

入学者の受け入れ方針（アドミッションポリシー）

思考・判断・表現

②問題意識を持ち、その問題解決のために、他者の意見を聞きながら、物事を順序立てて考え、書き、話すことができる。

→大学では自分の興味や関心をきっかけとして、教員や他の学生にも共有できる問題や課題を見付けていくことが期待されます。

→書くこと、話すことを通じて、人と考えを共有する意欲がある方を歓迎します。

入学者の受け入れ方針（アドミッションポリシー）

関心・意欲・態度（1）

③異文化や異質な存在を謙虚に理解し尊重する態度を身につけようとする意欲を持っている。

→文学作品の中には、現代とは異なる文化や価値観のもとに書かれたものも多いです。
→中には「共感」出来ないものもあるかもしれませんが、共感とは異なる「理解」「尊重」することは出来るはず。こうした力はグローバル社会で異文化と接する時にも役立ちます。
→そのような力を身につけたい方を歓迎します。

入学者の受け入れ方針（アドミッションポリシー）

関心・意欲・態度（2）

④日本文学・日本語・日本文化にかかわる様々な問題に対して深い関心を持っている。

→大学では、専門的な知識はもちろんですが、各自の関心にそって、どの分野でも共通するスキルを身につけることも大事です。
→だからこそ、受験生の皆さん自身の関心にあう分野を選び、楽しく力をつけましょう。本学科の専門的な日本文学や日本語、日本文化に深い関心を持つ方を歓迎します。

入学者の受け入れ方針（アドミッションポリシー）

関心・意欲・態度（3）

⑤学びを通して自己を研鑽し、地域や社会に積極的に関わっていこうとする意欲を持っている。

→大学での学習内容を、自分自身はもちろん、地域や社会で活かすことを考えてみましょう。日本の文学や文化は、日本の地域や社会の財産でもあります。

→個人として楽しむ読書も大切ですが、学習の成果を地域・社会と共有し、関わっていく。そんな意欲を持つ方を歓迎します。

入学者の受け入れ方針（アドミッションポリシー）

関心・意欲・態度（4）

⑥グループワークに積極的に参加する意欲を持っている。

→大学での授業の中には座学だけではなく、グループワークもあります。もしかすると、少し苦手意識のある方もいるかもしれませんが、周囲の人と協力して１つのものを作り出す力は、現代の社会において必要不可欠です。
→他の学生と積極的に交流し、一緒に学んでいく意欲を持つ方を歓迎します。

入学後の学習の流れ　①
ゼミ～学びのベースキャンプ～

大学の授業には、学生の調査や研究の発表を中心とする「演習」形式（ゼミ形式とも）と、教員による授業を中心に展開する「講義」形式との2つがあります。

日本文学科の専門的な学習の基礎を築く授業は、演習形式です。その際の本学科の特徴が、

1学年70人の少人数制

でなされる授業です。演習は個人やグループの調査や研究を元に行うので、人数が多いと一人の持ち時間が減ってしまいます。日本文学科では一人一人がしっかり学び、考える機会を大切にしたいと考えて少人数制をとっています。

入学後の学習の流れ　①
ゼミ～学びのベースキャンプ～

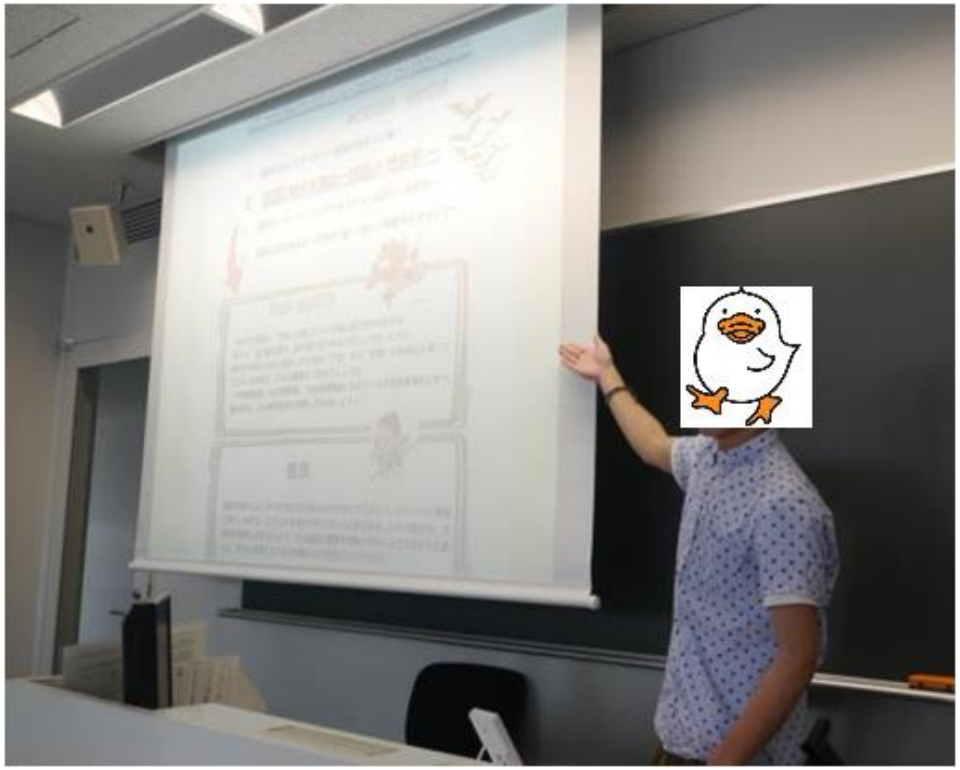
１年　　基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ

→古典文学・近現代文学・日本語学・日本文化の主要４分野を、春・秋で全員が一通り受けることになります。
基礎的な知識や調査方法を身につけるとともに、アカデミックスキル（レポート、プレゼンテーション等）や、基礎的なパソコンソフトの使用法なども案内します。

１ゼミ１６～１８名程度（４ゼミ）

→日本文学科では、1年生から専門分野を意識し、少人数での演習を受けることが出来ます。

入学後の学習の流れ　①
ゼミ～学びのベースキャンプ～



→基礎ゼミナールでの１年生の発表風景です。資料作成を通じた語彙力・読解力だけでなく、プレゼンテーション能力も磨きます。

入学後の学習の流れ　①
ゼミ～学びのベースキャンプ～

２年　　基礎ゼミナールⅢ・Ⅳ

→古典文学・近現代文学・日本語学・日本文化の４分野から、春学期と秋学期とで２分野を選択履修します。

１ゼミ１６～２２名程度（４ゼミ）

→２年生では、さらに専門性の高い授業を選択して受講できます。自分の研究したいことを考える、よい機会となっているようです。

入学後の学習の流れ　①
ゼミ～学びのベースキャンプ～

３年　　専門ゼミナール（課題研究Ⅰ・Ⅱ）
４年　　専門ゼミナール（課題研究Ⅲ・Ⅳ）

→それぞれの専門分野に分かれて、研究法を実践的に学びます。

古典文学（３ゼミ）
近現代文学（３ゼミ）
日本語学（２ゼミ）

１ゼミ６～１０名程度（８ゼミ）

→３年生・４年生では、２年間それぞれの分野にわかれて、各自の興味や関心に基づいた少人数のゼミを受講します。
→４年生では、卒業論文の執筆を行います。

入学後の学習の流れ　①
ゼミ～学びのベースキャンプ～

→３年生のゼミでの発表風景です。３・４年生の２年間は、同じ先生のゼミで研究します。所属先の先生が担任のような形になります。勉強だけでなく、進路や学生生活の相談にものります。

入学後の学習の流れ　②

卒業論文の主なテーマ

- 『源氏物語』におけるもののけの研究
  –六条御息所の性格と生霊化の関係を中心に–
- 近世文学における異界表現について
- 泉鏡花文学における食と衣の役割
- 埼玉県方言の実態

→学生自身の興味・関心を、研究上の課題としても有意義なものに結実させて論文をまとめます。
→日本文学は、高校までの「国語」の下敷きがあり、専門的な研究に取り組む時期も比較的早いため、4年で立派な成果を挙げる学生もいます。

入学後の学習の流れ　③

基礎講義科目

- 日本文学

  基礎日本文学Ａ～Ｄ（１・２年）
  ＝古代から現代までの文学史の概説

- 日本語学

  基礎日本語Ａ～Ｄ（１・２年）
  ＝日本語史・語彙・文法など日本語学の概説

- 人文学系総論（人文学科共通科目）

  日本文学総論・日本語学総論・日本文化総論
  文化人類学・哲学思想基礎論・宗教文化論
  表現文化論・カルチュラルスタディーズ総論

→講義による科目も幅広く設定されています。

入学後の学習の流れ　④
２年生以上の専門講義（例）

- **古典文学研究**
  - 更級日記を読む。
  - 源氏物語を読む。
  - 写本の字を活字にして和歌を読解する。
  - 西行法師の生涯と和歌を学ぶ。
- **近代文学研究**
  - 一人称小説を分析する。
  - 寺山修司の表現世界。
  - 近代作家と児童文学。
  - 近代文学の夢の系譜を考える。
- **日本語学研究**
  - 日本語の文体の歴史を知る。
  - 言語学上の日本語の位置付けを知る。
- **詩歌研究・仏教文学・漢文学**
  - 今昔物語集を読む。

→２年生以上では講義もより専門的になります。

入学後の学習の流れ　④

２年生以上の専門講義（例）

→大正大学には、貴重な日本文学に関する資料も所蔵されており、講義などでも活用することがあります。写真は『源氏物語』の揃いの写本。昔のくずし字を読む力を付けることも出来ます。

入学後の学習の流れ　⑤
カリキュラムの特色

- 古典文学から近現代文学、日本語学、その背景にある日本文化まで、幅広く深く学べる！

  →確かな専門力（知識・読解力・調査力・発信力）を育てます。

- １年生から専門を少人数で学ぶゼミがある！

  →学生同士、教員と学生の距離が近いです。アットホームな雰囲気の中で学べます。

  ＊日本文学系で７０名定員は他大学と比べても少ないです。

入学後の学習の流れ　⑥

取得できる資格と学生の雰囲気

中高国語科の教員免許を取得できます！

日本語教員や学芸員、図書館司書の資格もとれます！

→まじめで意欲的な学生が多いです。
自主的な勉強会や、学生を主体とし、教員も出席する研究会なども行われています。

（勉強会・研究会の例）

- 教職虎の穴
- 平安文学研究会

卒業生が目指す主な進路①

◎一般企業→多くの学生が、日本文学科で身につけた読み書きの能力を活かし、一般企業で活躍しています。

（2018年度卒業生の例（一部））

東洋濾紙、青山商事、会津商工信用組合

東京シティ信用金庫、エイブル　ほか

◎中高国語科教員→「教職支援センター」がバックアップします。教員採用試験対策講座などもあります。

2019年度合格実績

公立中学・高校教員採用試験（国語）、現役3名合格。

既卒合格4名、その他私立高校講師多数採用。

非常勤講師を務めている卒業生も多く、キャリアを積んで専任に採用される人も増えています。

卒業生が目指す主な進路②

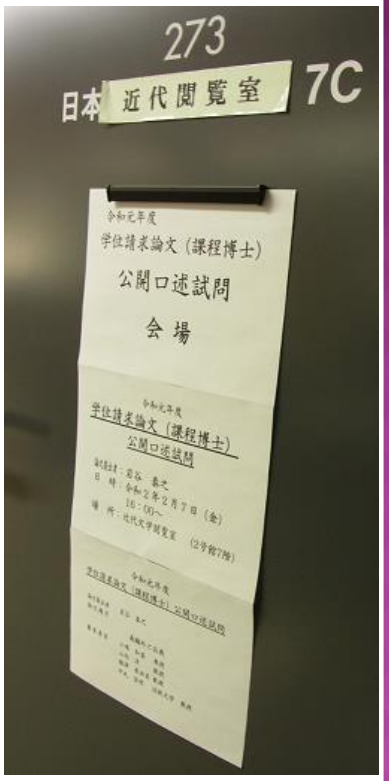
◎日本語教師→近年注目されています。学科でも2020年2月には外部講師を招いて講習をするなど力を入れています。

→講習会の様子です。日本語教師の現状について、学科の学生や大学院生が熱心に聴講しました。

卒業生が目指す主な進路③

◎学芸員、図書館司書→人気が高く、現役での採用は難しいですが、チャレンジしています。

◎進学＝大学院（国文学専攻）
→大学院でキャリアアップを図りつつ、上記の一般職、専門職を目指せます。
近年は、博士号をとって、他の大学や高専の教員となった卒業生もいます。



（写真は2019年度の博士学位請求論文公開口述試問の案内です）

日本文学科の学生生活

- 授業外での活動

コミュニケーションガイダンス
１年生４月

→１年生の入学直後に、見学実習を行います。
　ここで友だちが出来る学生も少なくないようです。

鴨台盆踊りへの参加
1～4年生７月

→大学が地域の方を招いて盆踊りを行っています。
学生は自由参加ですが、企画でも参加中です。

鴨台盆踊りへの参加
1年生フリーマーケットの様子

→1年生の有志によるフリーマーケットです。
商品も学生同士で集めています。

鴨台盆踊りへの参加
2年生飲食物販売の様子

→2年生は例年飲食物を販売しています。
写真はフラペチーノを作った年のものです。
地域の方と交流することが出来ます。

研修旅行
３年生8月頃（希望者）

→３年生で1泊2日～2泊3日の合宿を行います。
写真は南三陸に行ったときのものです。

研修旅行
３年生8月頃（希望者）

→芭蕉などの文学でも有名な松島にも寄りました。
実地に赴くことで、文学作品や日本文化をより
立体的に考えることが出来るようになります。

卒業論文発表会・進路報告会
3・4年生12月

→4年生の卒論と進路の報告会を行っています。一般企業に就職する学生でも、卒論と進路とが結びつくことも珍しくありません。3年生は例年かなり参考になるようです。

おわりに

・こんな人に学んでほしい！

こんな人に学んでほしい！

色々紹介しましたが、最初の動機はこれで十分！

「国語」が好き！
とにかく本が好き！
日本語が好き！
日本文学が好き！

→日本文学科で皆さんの「好き」を、具体的な将来に繋げていきましょう。

一緒に学びましょう！

古典文学から近現代文学、日本語学も日本文化論も

大正大学文学部日本文学科

→また6月以降のオープンキャンパスでお目にかかることが出来ればと思います。教員一同心よりお待ちしています。